



なぞって練習

弱ければ弱きままにて  
その腕を用い自分の便  
利を達して羨しつかえ  
なきはずなるに、いわ  
れなく力士のために腕  
を折らるるは迷惑至極  
と言ふべし。

また右の議論を世の中  
のことに当てはめて言  
わん。旧幕府の時代に  
は士民の区別はなはだ  
しく、士族はみだりに  
権威を振るい、百姓・  
町人を取り扱ふこと目  
の下の罪人のごとくし、  
あるいは切捨て御免な  
どの法あり。